

2021年10月16日、当院に2人目の作業療法士が入職しました。

作業療法士は基本的動作能力、応用的動作能力、社会的適応能力を維持・改善し、その人なりの、その人らしい生活を「作業」を通じて作っていきます。

当院には、脊椎・腰痛センターがあり、若年から高齢の患者様が手術を目的に多く入院しています。手術後、患者様は退院するだけでなく、職場や家庭において何らかの役割に復帰されます。そこで必要となるのが、応用的動作能力と社会的適応能力です。

今回、作業療法士が増えたことで、応用的動作能力と社会的適応能力を獲得した上で退院していただけるようになりました。

今後もリハビリテーション科は、患者様に様々なサービスが提供できるよう取り組んでまいります。

(文責 藤原聰)

新入職員のご挨拶



はじめまして、作業療法士の川口空です。私は、「病気や怪我が治ったというのは退院できたときではなく、以前に自分ができていたことが再びできるようになった時である。」と考えています。そのために、立ち上がり動作や歩行といった基本動作だけでなく、食事や更衣といったセルフケアや趣味活動など、患者様それぞれの“らしさ”を取り戻していただけるように作業療法を行ってまいります。これからよろしくお願ひいたします。